

2024
8月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News

入域概況版



■OCVBホームページ

<https://www.ocvb.or.jp/>

【観光客の皆様向け情報】

■沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語

<https://www.okinawastory.jp/>



1. 入域観光客数概況（24年4～6月実績、7月～9月見通し）

		4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	4-6月計	7月(予測)	8月(予測)	9月(予測)	7-9月計	4-9月計	
2024年度	国内	空路	588,100	559,500	572,300	1,719,900	689,000	717,000	638,000	2,044,000	3,763,900
		海路	5,300	2,000	5,300	12,600	2,700	2,700	2,800	8,200	20,800
		合計	593,400	561,500	577,600	1,732,500	691,700	719,700	640,800	2,052,200	3,784,700
	海外	空路	107,500	111,100	117,400	336,000	126,000	130,000	134,000	390,000	726,000
		海路	51,400	37,400	49,500	138,300	77,000	68,000	48,000	193,000	331,300
		合計	158,900	148,500	166,900	474,300	203,000	198,000	182,000	583,000	1,057,300
国内・海外合計		752,300	710,000	744,500	2,206,800	894,700	917,700	822,800	2,635,200	4,842,000	
前年度比	国内	空路	97.7%	99.2%	99.1%	98.7%	105.2%	114.0%	106.4%	108.5%	103.8%
		海路	378.6%	18.0%	63.1%	60.3%	31.0%	77.1%	73.7%	51.3%	56.4%
		合計	98.4%	97.6%	98.6%	98.2%	104.2%	113.8%	106.2%	108.1%	103.3%
	海外	空路	178.6%	175.5%	172.4%	175.4%	156.9%	181.6%	168.3%	168.5%	171.6%
		海路	790.8%	566.7%	515.6%	609.3%	220.6%	274.2%	177.8%	222.6%	302.8%
		合計	238.2%	212.4%	214.8%	221.3%	176.2%	205.4%	170.7%	183.2%	198.6%
国内・海外合計		112.3%	110.0%	112.2%	111.5%	114.9%	126.0%	115.9%	118.8%	115.4%	
19年度比	国内	空路	98.7%	100.6%	101.2%	100.1%	105.4%	97.4%	108.3%	103.3%	101.8%
		海路	106.0%	19.6%	126.2%	64.9%	39.1%	112.5%	215.4%	77.4%	69.3%
		合計	98.7%	99.1%	101.4%	99.7%	104.7%	97.5%	108.5%	103.1%	101.5%
	海外	空路	72.4%	68.5%	69.2%	69.9%	72.4%	86.7%	110.9%	87.7%	78.5%
		海路	50.4%	35.2%	38.5%	41.1%	59.8%	51.2%	49.0%	53.7%	47.6%
		合計	63.5%	55.3%	55.9%	58.0%	67.0%	70.0%	83.2%	72.5%	65.2%
国内・海外合計		88.4%	85.0%	85.8%	86.4%	92.8%	89.9%	101.7%	94.3%	90.5%	

2024年4月5月実績について、国内客算出時における新混在率適用の関係で、6月25日公表速報版から数値に修正あり。

（概況）

国内入域について、石垣・宮古を含む沖縄線は全体的に好調である。7月は航空会社各社のタイムセールもあり、前年度を上回る需要回復を見込む。8月は、引き続き沖縄線は全体的に好調で、台風6号の影響を受けた前年と比較し、114.0%と大幅に回復する見込みである。3か月通して、東京・大阪の大都市圏に加え、福岡や名古屋など地方路線の需要も堅調に推移している。

海外入域について、空路は仁川路線で増便ならびに復便、香港路線で復便が予定されている。台北、韓国仁川、香港路線については、引き続き予約が堅調に推移している。

海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移している。主に台湾(基隆・高雄) から寄港しており、その他、中国(上海・蛇口)からも寄港している。

過年度実績については、沖縄県の[入域観光客概況](#)をご確認ください。

1. 入域観光客数概況（24年4～6月実績、7月～9月見通し）

7月

国内

（空路）68.9万人（23年7月対比105.2%）と見込む。各方面、需要が順調に積みあがっている。

（海路）入域客数は2.7千人（23年7月対比 31.0%）となる見通し。
那覇と県内離島をめぐるフライ&クルーズは1回寄港予定。

海外

（空路）12.6万人（23年7月対比156.9%）となる見通し。

仁川＝那覇路線

◆イースター航空：7月19日（月）から復便（デイリー）

◆アジアナ航空：7月1日（月）から8月29日（木）まで定期増便

（海路）7.7万人（23年7月対比220.6%）となる見通し。

台湾（基隆）・中国（上海・蛇口）などから25回寄港予定。うち2回は石垣港のみ寄港。

8月

国内

（空路）71.7万人（23年8月対比114.0%/19年度比97.4%）と見込む。

※19年度は深夜早朝便の運航が複数あった。

（海路）2.7千人（23年8月対比77.1%）となる見通し。

国内クルーズは寄港なし。

海外

（空路）13万人（23年8月対比 181.6%）となる見通し。

（海路）6.8万人（23年8月対比274.2%）となる見通し。

台湾（基隆・高雄）・中国（上海・蛇口）などから25回寄港予定。うち5回は石垣港のみ寄港。

9月

国内

（空路）63.8万人（23年9月対比 106.4%）と見込む。

（海路）2.8千人（23年9月対比 73.7%）の見通し。

那覇と県内離島をめぐるフライ&クルーズは1回寄港予定。

海外

（空路）13.4万人（23年9月対比 168.3%）となる見通し。

香港＝那覇路線

◆香港エクスプレス：9月1日（日）から復便（月・火・水・木・土・日）

（海路）4.8万人（23年9月対比177.8%）となる見通し。

中国（上海）や台湾（基隆）などから、19回寄港予定。うち5回は石垣港のみ寄港。

（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

（海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

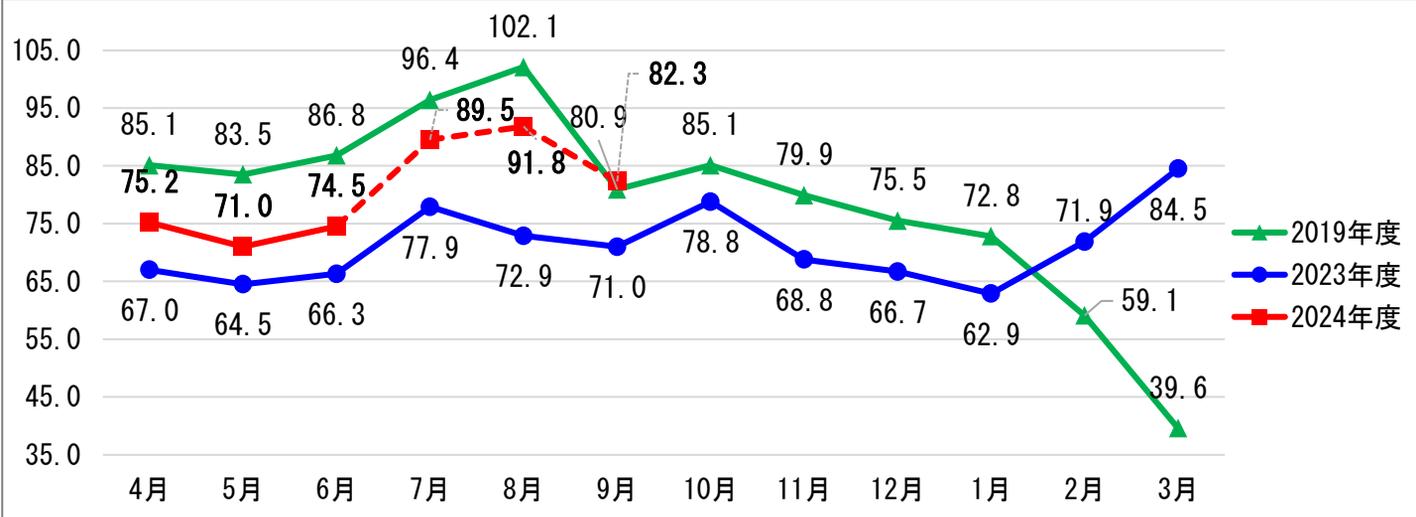
海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

1. 入域観光客数概況（24年4～6月実績、7月～9月見通し）グラフ

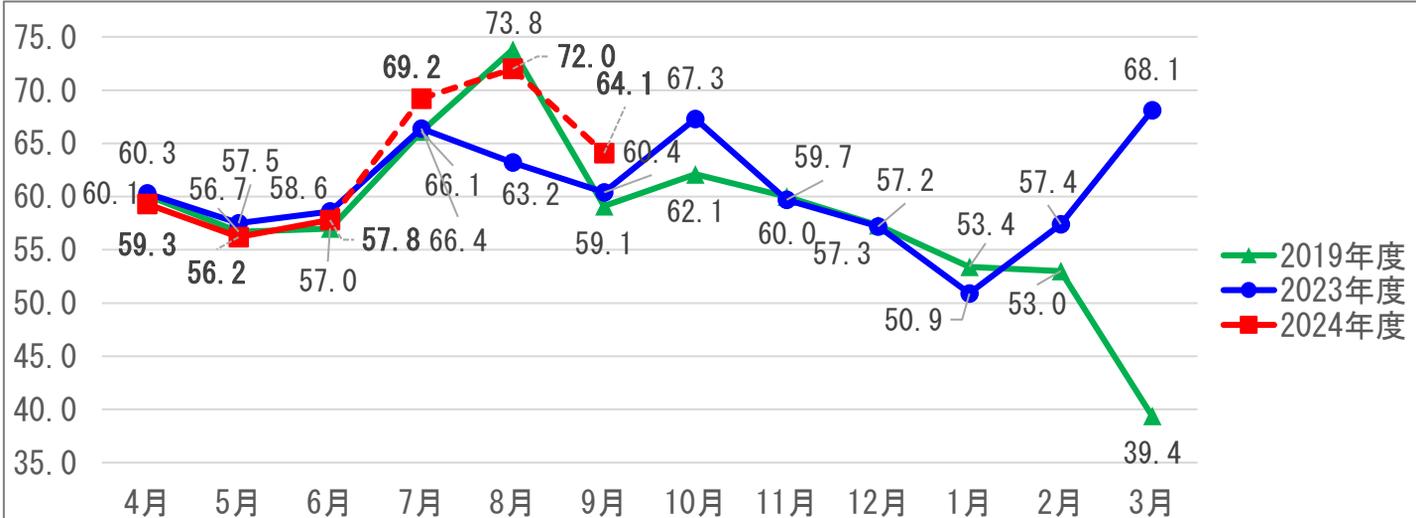
入域観光客（国内・海外合計）

単位：万人



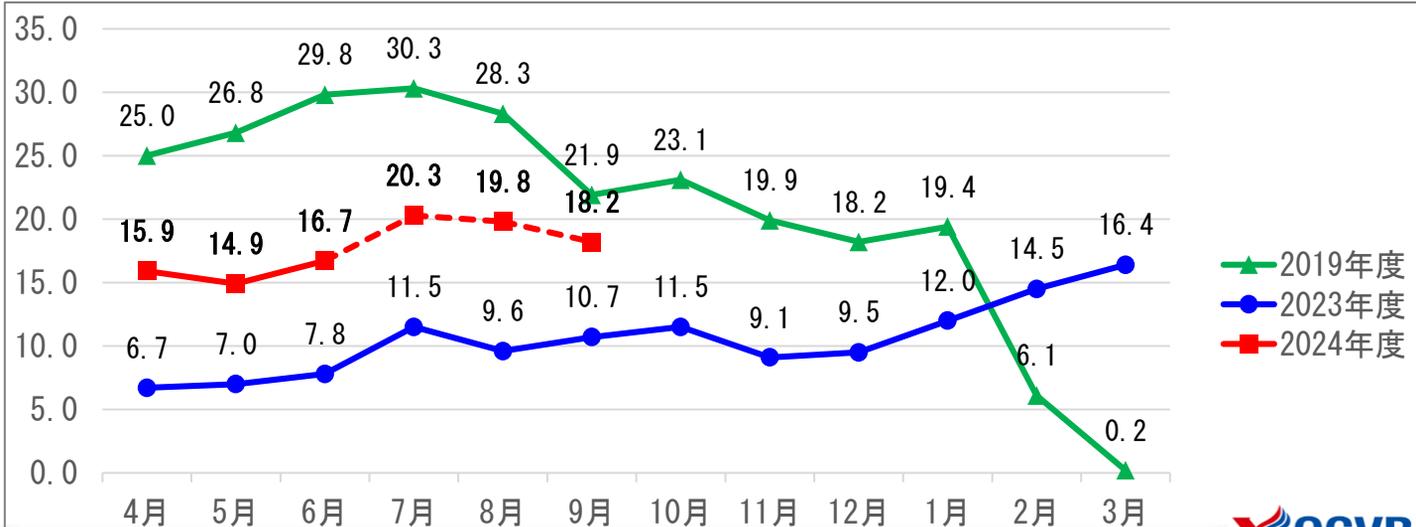
入域観光客（国内）

単位：万人



入域観光客（海外）

単位：万人



県内ホテル客室・レンタカー単価概況

2. 県内ホテル客室単価概況（24年4～6月実績および7月～9月見通し）
(1客室あたり単価)

ホテル区分	実績		見通し					
	4～6月平均	前年度比	7月	前年度比	8月	前年度比	9月	前年度比
本島リゾート	¥29,576	103.8%	¥42,228	103.7%	¥49,180	105.7%	¥42,580	96.6%
離島リゾート	¥26,068	88.7%	¥33,916	97.8%	¥38,104	97.2%	¥33,972	90.8%
シティホテル	¥14,196	100.2%	¥17,081	110.4%	¥18,963	112.9%	¥16,843	107.6%

(OCVB独自調査)

※上記ホテル客室単価実績および見通しについては、OCVBがヒアリングした約330のホテルの平均値

(概況)

4月～6月平均ならびに7月～9月の見通しにおいて、離島リゾートの単価が弱い傾向にある。新規ホテルの開業も多く、全体的な客室供給数が増加したことにより、単価が下がったと想定される。

繁忙期となる7月8月は好調で、とくに那覇シティホテルの単価が前年度比112.9%と好調である。

(県内ホテルや旅行会社、OTAへのヒアリングによるOCVB独自調査)

3. 県内レンタカー単価概況（24年4～6月実績および7月～9月見通し）

実績			見通し								
4～6月平均	前年度比	19年度比	7月	前年度比	19年度比	8月	前年度比	19年度比	9月	前年度比	19年度比
¥19,478	82.3%	183.6%	¥27,250	78.4%	251.6%	¥33,815	82.8%	228.6%	¥23,102	92.0%	239.9%

※上記、レンタカー単価実績および見通しのOTAからのヒアリングによるOCVB独自調査（平均値）単価については、1日当たりではなく予約1件当たりの単価。

(概況)

4月～6月の県内レンタカー単価実績については、昨年度比で82.3%となった。昨年度の台数不足による価格高騰から23年度の車両台数が過去最高を記録し、供給が増えたことにより、レンタカー協会に加盟している会員の価格は安定している。7月から9月の見通しについては、前年を下回る水準となる見通し。

観光客の移動手段として、公共交通機関やカーシェアリングなど新たな選択肢も増えている。

(OTAおよび沖縄県レンタカー協会へのヒアリングによるOCVB独自調査)

2024年度 入域数 実績概況

数値引用／沖縄県観光政策課

1. 沖縄入域観光客数

総計	総計				空路/ 海路別	総計／空路				総計／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	752,300	112.3%	+82,500	669,800	4月	695,600	105.1%	+33,700	661,900	56,700	717.7%	+48,800	7,900
5月	710,000	110.0%	+64,800	645,200	5月	670,600	106.9%	+43,100	627,500	39,400	222.6%	+21,700	17,700
6月	744,500	112.2%	+81,100	663,400	6月	689,700	106.9%	+44,300	645,400	54,800	304.4%	+36,800	18,000
4-6月計	2,206,800	111.5%	+228,400	1,978,400	4-6月計	2,055,900	106.3%	+121,100	1,934,800	150,900	346.1%	+107,300	43,600
年度計	2,206,800	25.9%	△6,325,800	8,532,600	年度計	2,055,900	25.2%	△6,108,300	8,164,200	150,900	41.0%	△217,500	368,400

国内	国内客／合計				空路/ 海路別	国内客／空路				国内客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	593,400	98.4%	△9,700	603,100	4月	588,100	97.7%	△13,600	601,700	5,300	378.6%	+3,900	1,400
5月	561,500	97.6%	△13,800	575,300	5月	559,500	99.2%	△4,700	564,200	2,000	18.0%	△9,100	11,100
6月	577,600	98.6%	△8,100	585,700	6月	572,300	99.1%	△5,000	577,300	5,300	63.1%	△3,100	8,400
4-6月計	1,732,500	98.2%	△31,600	1,764,100	4-6月計	1,719,900	98.7%	△23,300	1,743,200	12,600	60.3%	△8,300	20,900
年度計	1,732,500	23.8%	△5,536,600	7,269,100	年度計	1,719,900	23.8%	△5,491,800	7,211,700	12,600	22.0%	△44,800	57,400

外国	外国客／合計				空路/ 海路別	外国客／空路				外国客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	158,900	238%	+92,200	66,700	4月	107,500	179%	+47,300	60,200	51,400	791%	+44,900	6,500
5月	148,500	212%	+78,600	69,900	5月	111,100	176%	+47,800	63,300	37,400	567%	+30,800	6,600
6月	166,900	215%	+89,200	77,700	6月	117,400	172%	+49,300	68,100	49,500	516%	+39,900	9,600
4-6月計	474,300	221%	+260,000	214,300	4-6月計	336,000	175%	+144,400	191,600	138,300	609%	+115,600	22,700
年度計	474,300	38%	△789,200	1,263,500	年度計	336,000	35%	△616,500	952,500	138,300	44%	△172,700	311,000

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

参考数値

<数値引用>

- 総数 : 沖縄県 観光政策課
- 八重山 : 沖縄県 八重山事務所
- 宮古 : 宮古島市 観光商工部 観光商工課
- 久米島 : 久米島町観光協会
- 座間味村 : 座間味村役場 産業振興課
- 渡嘉敷村 : 渡嘉敷村 商工観光課

<数値のご注意>

※ 各数値は、左記の関係各所が定めた統計手法により算出されているため、考え方に若干の相違があります。また各諸島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあるため、参考数値としてご覧ください。
※ 数値公表のタイミングもそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表となります。



▲ 沖縄離島の入域観光客数 ▼

●沖縄県入域観光客数 総計					●八重山					●宮古				
	2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023
4月	752,300	112.3%	+82,500	669,800	4月	111,141	113.9%	+13,522	97,619	4月	84,382	120.7%	+14,485	69,897
5月	710,000	110.0%	+64,800	645,200	5月	92,691	101.3%	+1,198	91,493	5月	77,541	111.4%	+7,910	69,631
6月	744,500	112.2%	+81,100	663,400	6月	0	0.0%	△94,522	94,522	6月	94,942	129.0%	+21,346	73,596
4-6月計	2,206,800	111.5%	+228,400	1,978,400	4-6月計	203,832	71.9%	△79,802	283,634	4-6月計	256,865	120.5%	+43,741	213,124
年度計	2,206,800	25.9%	△6,325,800	8,532,600	年度計	203,832	16.2%	△1,056,852	1,260,684	年度計	256,865	27.4%	△681,313	938,178

●久米島					●座間味村					●渡嘉敷村				
	2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023
4月	3,302	110.4%	+310	2,992	4月	7,213	94.0%	△464	7,677	4月	9,174	99.3%	△61	9,235
5月	4,351	95.9%	△187	4,538	5月	9,040	116.0%	+1,244	7,796	5月	0	0.0%	△8,758	8,758
6月	7,010	98.1%	△137	7,147	6月	8,653	105.9%	+481	8,172	6月	0	0.0%	△9,699	9,699
4-6月計	14,663	99.9%	△14	14,677	4-6月計	24,906	105.3%	+1,261	23,645	4-6月計	9,174	33.1%	△18,518	27,692
年度計	14,663	16.3%	△75,419	90,082	年度計	24,906	26.0%	△71,056	95,962	年度計	9,174	8.3%	△101,233	110,407

3. 入域数／航路別入域実績

国内 海外	4月		5月		6月		4-6月計		年度計				
	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	入域数 シェア	対前年 増減数	対前年 増減数 ランキング	
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)		
国内 ／ 航路別	札幌	4,000	100	4,000	△100	3,900	△100	11,900	△100	11,900	0.6%	△100	31
	仙台	3,700	△400	3,500	△400	3,800	700	11,000	△100	11,000	0.6%	△100	31
	福島	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	23
	新潟	2,000	△1,300	1,900	△1,000	0	0	3,900	△2,300	3,900	0.2%	△2,300	37
	富山	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	23
	小松	2,900	300	2,500	△400	2,700	△500	8,100	△600	8,100	0.4%	△600	35
	東京	286,200	△8,600	263,400	△3,700	278,900	△3,500	828,500	△15,800	828,500	43.8%	△15,800	41
	茨城	3,100	△400	3,200	0	3,300	△100	9,600	△500	9,600	0.5%	△500	34
	静岡	500	200	400	△100	0	0	900	+100	900	0.0%	+100	21
	名古屋	51,000	△200	45,400	△5,900	47,200	△5,100	143,600	△11,200	143,600	7.6%	△11,200	40
	伊丹	38,600	△1,300	40,900	2,700	40,300	1,800	119,800	+3,200	119,800	6.3%	+3,200	6
	関西	62,000	△3,200	62,200	△500	61,000	△2,700	185,200	△6,400	185,200	9.8%	△6,400	38
	神戸	27,200	1,500	27,400	△900	27,400	1,600	82,000	+2,200	82,000	4.3%	+2,200	8
	岡山	3,900	0	4,500	200	3,400	△200	11,800	+0	11,800	0.6%	+0	23
	広島	4,100	△400	4,000	△100	4,800	1,000	12,900	+500	12,900	0.7%	+500	15
	岩国	3,300	100	2,300	△400	2,600	300	8,200	+0	8,200	0.4%	+0	23
	高松	5,600	400	6,100	1,600	4,500	900	16,200	+2,900	16,200	0.9%	+2,900	7
	松山	3,200	△200	2,400	△600	2,700	100	8,300	△700	8,300	0.4%	△700	36
	高知	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	23
	福岡	73,300	1,000	70,600	1,000	71,800	100	215,700	+2,100	215,700	11.4%	+2,100	9
	北九州	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	23
	長崎	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	23
	熊本	3,200	△300	3,100	200	3,100	300	9,400	+200	9,400	0.5%	+200	18
	大分	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	23
宮崎	2,700	△100	2,800	0	2,700	0	8,200	△100	8,200	0.4%	△100	31	
鹿児島	10,600	800	10,900	500	10,100	500	31,600	+1,800	31,600	1.7%	+1,800	11	
その他	2,300	2,300	0	△5,900	3,400	△3,200	5,700	△6,800	5,700	0.3%	△6,800	39	
外国 ／ 国籍別	台湾	67,700	+40,100	0	+0	0	+0	67,700	+40,100	67,700	3.6%	+40,100	1
	韓国	27,400	+9,000	0	+0	0	+0	27,400	+9,000	27,400	1.4%	+9,000	4
	中国本土	16,000	+15,400	0	+0	0	+0	16,000	+15,400	16,000	0.8%	+15,400	3
	香港	13,700	+5,800	0	+0	0	+0	13,700	+5,800	13,700	0.7%	+5,800	5
	アメリカ	5,100	+2,100	0	+0	0	+0	5,100	+2,100	5,100	0.3%	+2,100	9
	カナダ	1,200	+600	0	+0	0	+0	1,200	+600	1,200	0.1%	+600	14
	イギリス	1,900	+500	0	+0	0	+0	1,900	+500	1,900	0.1%	+500	15
	フランス	400	+300	0	+0	0	+0	400	+300	400	0.0%	+300	17
	タイ	1,900	+100	0	+0	0	+0	1,900	+100	1,900	0.1%	+100	21
	シンガポール	1,300	+1,000	0	+0	0	+0	1,300	+1,000	1,300	0.1%	+1,000	12
	マレーシア	600	+200	0	+0	0	+0	600	+200	600	0.0%	+200	18
	インドネシア	300	+200	0	+0	0	+0	300	+200	300	0.0%	+200	18
	オーストラリア	1,400	+900	0	+0	0	+0	1,400	+900	1,400	0.1%	+900	13
	その他※	20,000	+16,000	0	+0	0	+0	20,000	+16,000	20,000	1.1%	+16,000	2
総計	752,300	82,500	561,500	△13,800	577,600	△8,100	1,891,400	+60,600	1,891,400	100.0%	+1,288,500	—	

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

4. 修学旅行入込人数調査予測 (令和6年7月9日時点予約数 OCVB調査 回答数6/15社)

令和6年度教育旅行推進強化事業

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	26,033 (218)	54,779 (429)	34,575 (217)	3,253 (27)	37 (1)	11,698 (67)	80,400 (382)	85,195 (389)	71,947 (386)	24,641 (122)	15,738 (104)	15,185 (185)	423,481 (2,428)
R5	14,750 (113)	37,324 (287)	26,245 (161)	2,909 (23)	165 (4)	6,802 (40)	64,998 (316)	80,797 (362)	50,816 (273)	14,175 (81)	16,856 (95)	11,603 (67)	327,440 (1,822)
R6	18,916 (140)	44,618 (336)	30,894 (199)	2,900 (23)	325 (4)	12,381 (55)	62,957 (306)	67,950 (304)	51,947 (272)	17,602 (91)	18,512 (91)	10,693 (64)	339,695 (1,885)

※()内は学校数

5. 入域数／エリア構成比 (年度累計／同期比)

国内入域 エリア別 24年度累計	構成比		海外入域 エリア別 23年度合計	構成比	
	比率	前年差		比率	前年差
東日本	50.8%	△1.4%	台湾	42.6%	+0.8%
中部	8.3%	△0.9%	韓国	17.2%	△5.1%
関西・中四国	25.7%	+1.7%	中国本土	10.1%	+3.7%
九州	15.3%	+0.6%	香港	8.6%	△3.2%
			海外その他	21.5%	+3.8%

6. 航空旅客輸送実績／需給バランス [数値について] ※国内数値は、沖縄県観光政策課発表より引用、外国数値はOCVB独自調査によるもの
 ※いずれも沖縄向け(定期路線、下り便)の数値
 ※国内は、チャーター便など不定期路線およびLCCの輸送実績が含まれていません
 ※外国は、チャーター便など不定期路線および各国一部航空会社の輸送実績が含まれていません

参考数値 ● 月ごとの供給/需要/利用率 (国内路線のみ)

		4月	5月	6月	4-6月計	年度計
国内	提供座席	776,689	809,471	773,085	2,359,245	2,359,245
	輸送実績	600,018	566,408	587,005	1,753,431	1,753,431
	利用率	77.3	70.0	75.9	74.3	74.3
海外	提供座席	114,047	114,228	116,410	344,685	344,685
	輸送実績	99,011	100,385	107,340	306,736	306,736
	利用率	86.8	87.9	92.2	0	89.0
合計	提供座席	890,736	923,699	889,495	2,703,930	2,703,930
	輸送実績	699,029	666,793	694,345	2,060,167	2,060,167
	利用率	78.5	72.2	78.1	76.2	76.2

参考値
FSC・LCC内訳

	FSC	LCC
令和6年6月	481,600	90,700
令和5年6月	468,800	108,500
増減数	+ 12,800	△17,800
前年同月比	102.7%	83.6%
FSC・LCC比率	84.2%	15.8%

参考数値 ● 路線別の供給/需要/利用率 (国内累計)

国内		輸送実績 (需要)				提供座席 (供給)				利用率			需給	概況	
発地	着地	2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	増減	前年比 差異		
				前年比	増減			前年比	増減						
札幌	那覇	0	0		+0	0	0		+0						○
仙台	那覇	13,390	13,404	99.9%	△14	22,115	17,266	128.1%	+4,849	61%	78%	△17%	△28%		×
新潟	那覇	4,706	7,262	64.8%	△2,556	9,960	9,960	100.0%	+0	47%	73%	△26%	△35%		×
小松	那覇	9,897	10,586	93.5%	△689	14,850	14,850	100.0%	+0	67%	71%	△5%	△7%		×
茨城	那覇	11,670	12,345	94.5%	△675	15,930	15,930	100.0%	+0	73%	77%	△4%	△5%		×
羽田	那覇	701,016	720,800	97.3%	△19,784	949,395	940,195	101.0%	+9,200	74%	77%	△3%	△4%		△
羽田	宮古	60,778	61,558	98.7%	△780	70,331	91,332	77.0%	△21,001	86%	67%	+19%	+22%		○
羽田	石垣	76,833	70,062	109.7%	+6,771	90,559	92,546	97.9%	△1,987	85%	76%	+9%	+12%		○
羽田	久米島	0	0		+0	0	0		+0						○
羽田	下地島	13,864	12,483	111.1%	+1,381	15,930	15,753	101.1%	+177	87%	79%	+8%	+10%		○
静岡	那覇	1,162	862	134.8%	+300	1,825	996	183.2%	+829	64%	87%	△23%	△48%		×
東日本エリア計		893,316	909,362	98.2%	△16,046	1,190,895	1,198,828	99.3%	△7,933	75%	76%	△1%	△1%		△
名古屋	那覇	128,589	123,650	104.0%	+4,939	168,023	166,887	100.7%	+1,136	77%	74%	+2%	+3%		○
名古屋	宮古	14,126	12,004	117.7%	+2,122	18,076	16,754	107.9%	+1,322	78%	72%	+6%	+10%		○
名古屋	石垣	14,048	11,950	117.6%	+2,098	17,911	16,754	106.9%	+1,157	78%	71%	+7%	+11%		○
中部エリア計		156,763	147,604	106.2%	+9,159	204,010	200,395	101.8%	+3,615	77%	74%	+3%	+4%		○
伊丹	那覇	145,857	142,027	102.7%	+3,830	177,797	175,029	101.6%	+2,768	82%	81%	+1%	+1%		○
関西	那覇	71,399	63,807	111.9%	+7,592	98,728	92,027	107.3%	+6,701	72%	69%	+3%	+5%		○
関西	宮古	25,441	21,277	119.6%	+4,164	34,635	30,235	114.6%	+4,400	73%	70%	+3%	+5%		○
関西	石垣	22,469	19,526	115.1%	+2,943	28,428	29,680	95.8%	△1,252	79%	66%	+13%	+19%		○
神戸	那覇	78,863	74,866	105.3%	+3,997	108,873	107,400	101.4%	+1,473	72%	70%	+3%	+4%		○
神戸	下地島	13,437	11,945	112.5%	+1,492	15,930	15,753	101.1%	+177	84%	76%	+9%	+11%		○
岡山	那覇	14,335	14,333	100.0%	+2	16,665	16,500	101.0%	+165	86%	87%	△1%	△1%		△
広島	那覇	15,759	15,096	104.4%	+663	18,624	17,015	109.5%	+1,609	85%	89%	△4%	△5%		×
岩国	那覇	10,093	10,043	100.5%	+50	14,940	14,332	104.2%	+608	68%	70%	△3%	△4%		△
高松	那覇	19,817	16,184	122.4%	+3,633	25,995	19,786	131.4%	+6,209	76%	82%	△6%	△9%		×
松山	那覇	10,073	10,932	92.1%	△859	14,940	14,608	102.3%	+332	67%	75%	△7%	△10%		×
関西・中四国エリア計		427,543	400,036	106.9%	+27,507	555,555	532,365	104.4%	+23,190	77%	75%	+2%	+3%		○
福岡	那覇	184,072	180,297	102.1%	+3,775	285,039	282,373	100.9%	+2,666	65%	64%	+1%	+1%		○
熊本	那覇	11,534	11,147	103.5%	+387	14,940	14,608	102.3%	+332	77%	76%	+1%	+1%		○
宮崎	那覇	41,037	38,407	106.8%	+2,630	52,587	52,561	100.0%	+26	78%	73%	+5%	+7%		○
鹿児島	那覇	16,115	16,872	95.5%	△757	24,435	23,818	102.6%	+617	66%	71%	△5%	△7%		×
与論	那覇	7,028	2,942	238.9%	+4,086	8,576	4,450	192.7%	+4,126	82%	66%	+16%	+46%		○
沖永良部	那覇	2,976	2,719	109.5%	+257	4,224	4,128	102.3%	+96	70%	66%	+5%	+7%		○
九州エリア計		262,762	252,384	104.1%	+10,378	389,801	381,938	102.1%	+7,863	67%	66%	+1%	+2%		○
国内/合計		1,740,384	1,709,386	101.8%	+30,998	2,340,261	2,313,526	101.2%	+26,735	74%	74%	+0%	+1%		○
海外		※利用率が70%以上の部分に色付けています。													
台湾	那覇・石垣	165,413	93,999	176.0%	+71,414	183,942	115,230	159.6%	+68,712	90%	82%	+8%	+16%		○
韓国	那覇	94,769	66,088	143.4%	+28,681	105,911	82,017	129.1%	+23,894	89%	81%	+9%	+14%		○
中国本土	那覇	1,647	0		+1,647	3,194	0		+3,194	52%					△
香港	那覇・石垣・下地	44,907	28,498	157.6%	+16,409	51,638	31,888	161.9%	+19,750	87%	89%	△2%	△4%		△
外国/合計		306,736	188,585	162.7%	+118,151	344,685	229,135	150.4%	+115,550	89%	82%	+7%	+12%		○

概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。
 ○ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を上回る
 △ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(±0~▲%)
 × 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(▲5%以上)

特集 県内事業社のインバウンド誘客の取り組み事例

～城紅型工房 現地SNS沖縄コミュニティ/Google Mapの口コミで外国人客を獲得～

4年で外国人客を1.0倍に
引き上げたSNS戦略

卸売から直販メインへ事業転換

城紅型染工房（ぐすくびんがたぞめこうぼう）は、沖縄の伝統工芸である紅型製品を製造販売を専門とする工房です。1971年5月に設立され、お土産品店やホテルを中心に卸取引で事業を展開していましたが、利益率の低いモデルを転換すべく、2016年一般客の直販メインにビジネスモデルを大きく転換。その際に着目したのが、当時急増していたインバウンドの外国人、中でも台湾・香港でした。

「沖縄で一番攻めている紅型工房」として積極的な情報発信

城紅型染工房店長の山城さんは、サラリーマン時代の営業で培った「どんなにいい商品を作っているか、その情報を発信してお客様に知ってもらえなければ商品も売れない」という経験をもとに、



山城 信吾様
城紅型染工房 店長
大宜味村喜如嘉出身

様々な手段を講じてインバウンド誘客に取り組み始めました。まず、OCVBが主催する旅行博でのワークショップを開催。これにより、外国人観光客が直接紅型染めを体験できる機会を提供し、工房の存在をアピールしました。

さらに、城紅型染工房では英語と繁体字のSNSアカウントを開設し、毎日のように体験のことなどを投稿を続けました。これにより、海外のファン層を広げ、工房と海外ファンの国境を越えたつながりを拡大してきました。



▲台湾の沖縄ファンが集うFacebook沖縄ファンページ「沖繩 彭大家族自助錦囊」

▲山城さんのファンページ内の「今日の沖縄の天気」投稿

特に効果的だったのが台湾・香港のFacebookなどのSNS上で自然発生した沖縄ファンコミュニティでの「今日の沖縄の天気」の発信。これにより、現地の沖縄ファンとの交流を深め、工房の知名度を上げました。このような積極的な情報発信を通じて、2019年には外国人来店数が293件と10倍以上に増加しました。山城さんの情熱と工房の魅力が相まって、城紅型染工房は、多くの外国人観光客に愛される場所となりました。

海外SNSの沖縄ファンコミュニティページでの「今日の沖縄の天気」投稿



▲城紅型染工房山城さん琉球大学講演資料より引用

Google Map

口コミを活用した戦略

欧米や東南アジアの観光客へ

客層が広がる

これからインバウンド客を飛躍的に伸ばそうとしていた時、コロナが襲いました。コロナ禍ではSNSを活用してEコマースへ集客し、マスクや紅型体験キットの販売で売り上げを作る努力を行いました。その中で、沖縄県よろず支援拠点でGoogleビジネスプロフィールの充実とGoogle MAPの口コミを増やすことが集客に有効であると学び、実践しました。結果、コロナ後の2023年にはGoogle Mapのコメントを見て来店する外国人が増えました。特に、コロナ前は数件に過ぎなかった欧米やシンガポールからのお客様が20件以上に増え、大幅な客層の広がりを実現しました。

良質な口コミを獲得するコツ お礼カードと念押しの一ひと

山城さんは、外国人からの口コミを得るためにいくつか工夫をしています。投稿は強制ではなく、口コミ投稿に対するプレゼントなどインセンティブも渡していません。まず、商品や体験を楽しんだお客様には、自分で作った

作品とともに手作りのお礼カードを渡し、口コミ投稿を依頼しています。このお礼カードは、感謝の気持ちを伝えるだけでなく、口コミ投稿の依頼を自然に促すための重要なツールです。

さらに、山城さんは口頭でも「今日は楽しめましたか?」と尋ね、「はい、楽しめました」という返事をもらった後にカードを渡し、「もしよかったらGoogle Mapにコメントを投稿してくださいね」と念押ししています。この念押しのひとことは、お客様に対する最終的な一押しとして非常に効果的です。会話のキャッチボールの中で自然にお願いすることで、外国人のお客様は日本人のお客様よりもはるかに高い確率で口コミを投稿してくれます。山城さんはこの方法が、良質な口コミを増やし、工房の評価を高めるための鍵だと確信しています。

▲城紅型染工房のお礼カード英語版と繁体字版



外国語を話せない人 でもできること

これまで読んでいただき、山城さんは様々な言語を話せる優秀な方だと感じながらもありません。しかし、山城さんは外国人集客を始めた当初、英語も中国語も全く話せませんでした。「相手も完璧を求めていない。まずはあいさつと『今日は楽しめましたか』等のプラスひとことがあれば相手は感動してくれる。体験の手順はペーパーを用意するだけで問題なくオペレーションできる」と話します。また、沖縄在住の外国人も重要な顧客であり、リピート率が高いことから、普段からの対応が外国人対応の経験値向上につながるかと述べています。

インバウンドに取り組み ここのやりがい

山城さんは外国人対応によって仕事にやりがい生まれ、生き生きと仕事に取り組みれています。台湾や香港に行った際にはお客様と一緒に食事をしたり、スーツケースに入りきれないほどのお土産をもらいました。異文化を学び、何より世界中に友達ができたことが最大の財産だと話します。県内のインバウンドに取り組みたい人へのメッセージとして、「ちよつとした工夫でビジネスも上向き、精神的にも豊かになれる」と語りました。

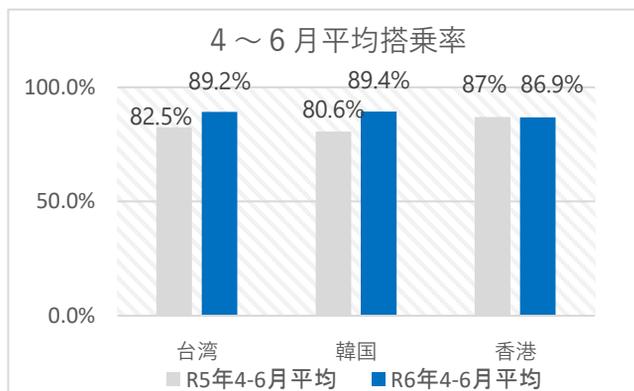
インバウンド概況

2024年4～6月市場概況まとめ

好調な台湾・韓国・香港市場。タイエアアジアによる新規就航

搭乗率85%以上と好調な台湾・韓国・香港市場

国際航空路線の回復および円安の影響を追い風に、4月～6月の重点各市場における沖縄への路線搭乗率は、台湾が平均89.2%、韓国が89.4%、香港が86.9%となり好調を維持しています。今後も、離島を含め路線の就航が段階的に進むとみられています。



韓国仁川⇄下地島が新規就航 宮古島としては初の韓国からの定期便

2024年5月29日に海外からの離島直行便としてジンエアによる韓国仁川⇄下地島路線が、週5便運航することとなりました。宮古島市内では、沖縄県飲食業組合宮古支部の主催で韓国人のニーズにマッチする食事提供の勉強会を開催するなど、国際線再開による韓国人の受入強化に向けた取り組みがスタートしています。

タイ バンコクからの直行便が就航。コロナ前に就航していたpeach以来4年ぶりのタイ路線

2024年4月から、タイ・エアアジアのバンコク（ドンムアン）＝那覇の直行便が週4便で就航し、タイ＝沖縄間の旅行の利便性が大きく向上しました。2024年4月は3月より+1,300人増加。また、6月は同社によるバンコク-台北-那覇便の就航があり、引き続き増加が期待されます。



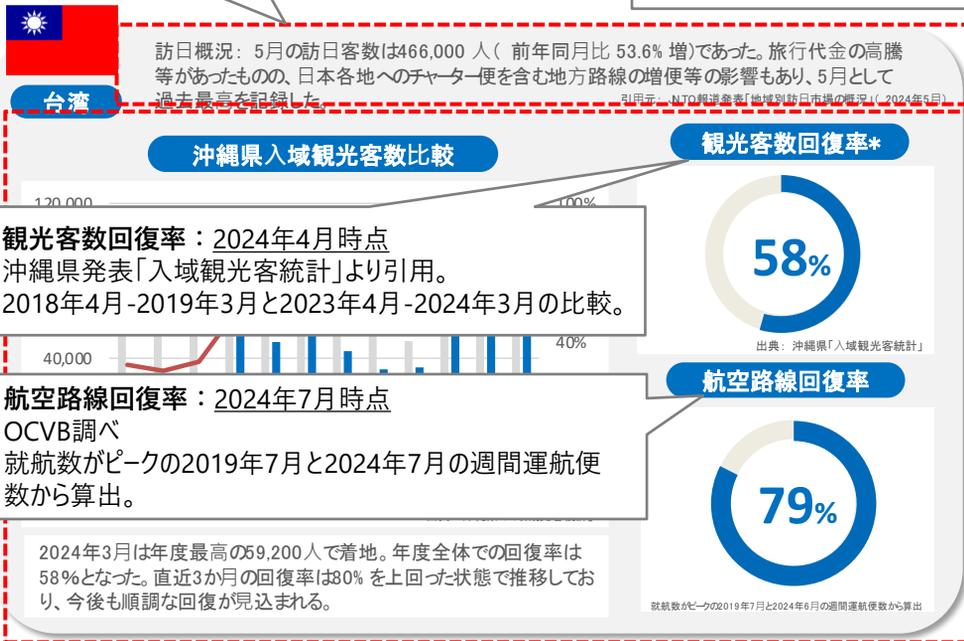
中国からの観光客は緩やかに回復

中国大陸からの日本への観光客は、査証取得の必要があることや中国国内における景気の低迷などの影響を受け低調に推移していましたが、今年に入りファミリー層を中心に大きく回復しています。しかしその大半は、テーマパークや買い物需要によりゴールデンルートに集中しており、沖縄を含む地方への誘客にはもうしばらく時間がかかるものと思われます。

市場別概況の表の見方

訪日概況：2024年5月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2024年4月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、
3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



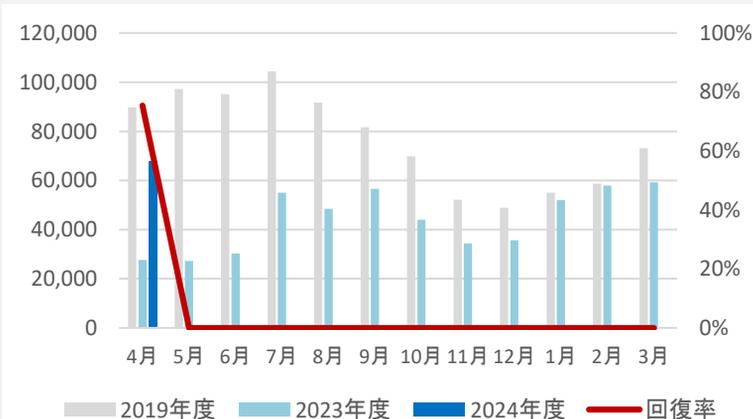
市場別概況



訪日概況：5月の訪日客数は466,000人（前年同月比 53.6%増）であった。旅行代金の高騰等があったものの、日本各地へのチャーター便を含む地方路線の増便等の影響もあり、5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

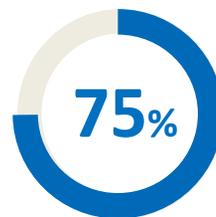
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

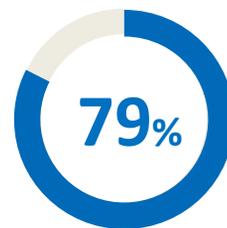
2024年4月はコロナ後以降最高の67,700人で着地。2018年4月と比較した際の回復率は75%となった。2024年6月からはタイエアアジアによる台北経由便の就航があり、来訪者の増加が期待される

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年7月の週間運航便数から算出

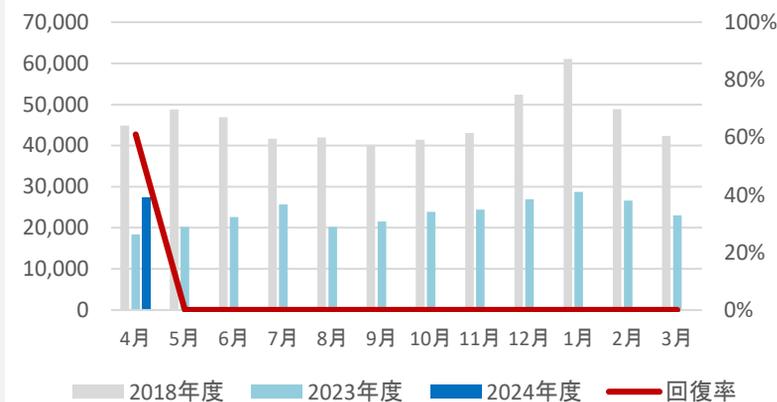


韓国

訪日概況：5月の訪日客数は738,800人（前年同月比43.3%増）であった。仁川-関西間の増便、仁川-那覇間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月を上回っている。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

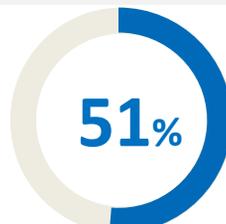
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

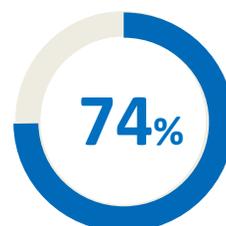
前年同月より9,000人多い27,400人の韓国人の来訪があった。5月はジンエアーによるソウル-下地島、7月はイースター航空によるソウル-那覇の就航があり、5月以降も引き続き来訪者の増加が期待される

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年7月の週間運航便数から算出

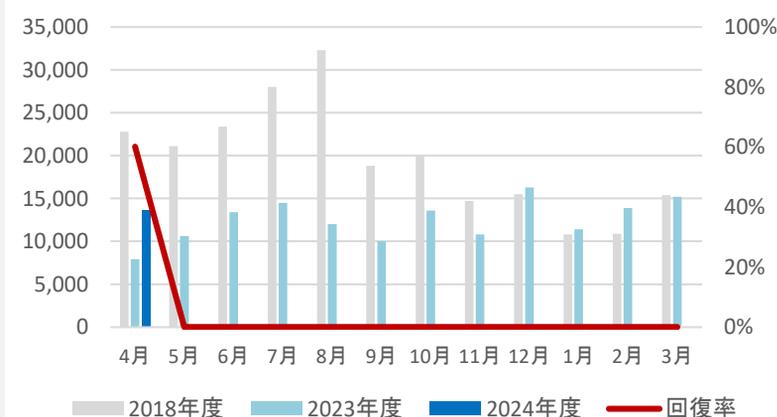


香港

訪日概況：5月の訪日客数は217,500人（前年同月比40.9%増）であった。旅行代金の高騰等があったものの、地方路線の増便等の影響もあり、5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

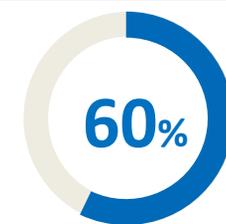
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

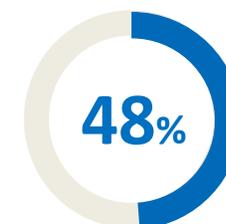
前年同月より5,800人多い13,700人の来訪があった。対2018年比での回復率は60%となり、コロナ前ははやや低調な結果となった

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年7月の週間運航便数から算出

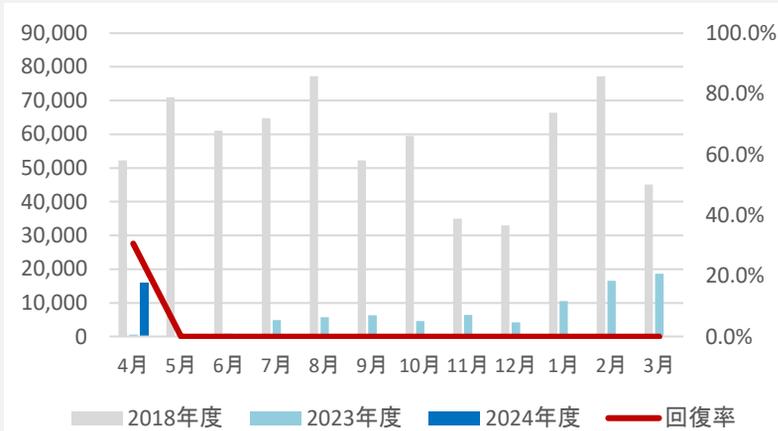


中国

訪日概況：5月の訪日客数は545,400人（前年同月比305.5%増）であった。中国の水際規制緩和※、地方路線を含む増便、労働節等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

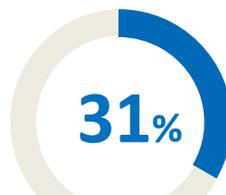
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

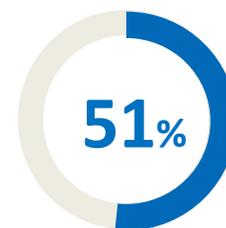
訪日ビザや中国現地の経済状況が影響し、回復率が低い状況にあるが、2024年1月以降の上海東方航空の増便2月の春秋航空の新規就航以降緩やかに回復している

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年6月の週間運航便数から算出

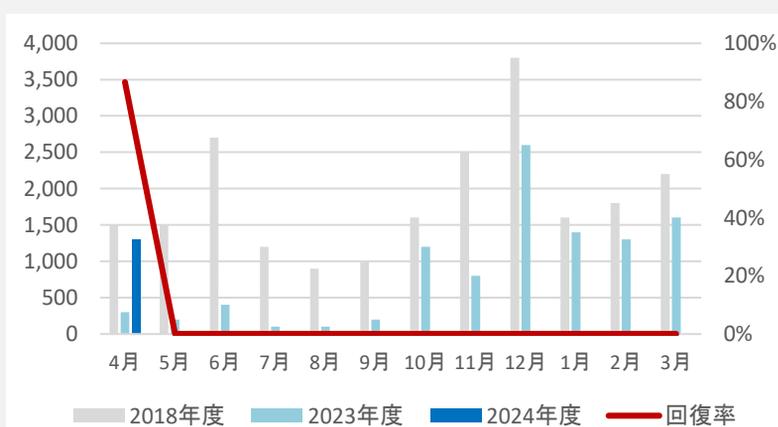


シンガポール

訪日概況：5月の訪日客数は217,500人（前年同月比40.9%増）であった。旅行代金の高騰等があったものの、地方路線の増便等の影響もあり、5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

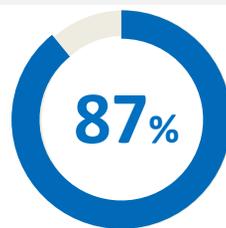
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

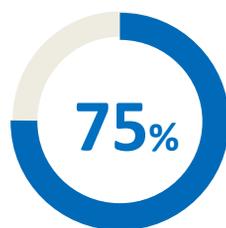
2024年4月の回復率はコロナ後以降最高の87%となった。4月以降は高い搭乗率を維持しており、シンガポールからの来訪者の増加が引き続き期待される

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年6月の週間運航便数から算出

7. エリア概況（海外） タイ・マレーシア

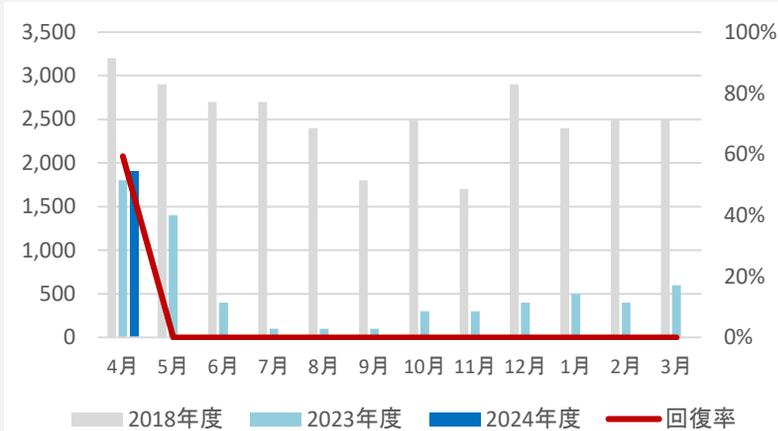


タイ

訪日概況：5月の訪日客数は、97,400人（前年同月比20.7%増）であった。消費者購買力の低下等の影響があるものの、直行便数の増加、祝日等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

2024年4月タイ・エアアジアによるバンコク-那覇便の就航があり来訪者が3月より+1,300人増加。また、6月は同社によるバンコク-台北-那覇便の就航があり、引き続き増加が期待される

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年7月の週間運航便数から算出

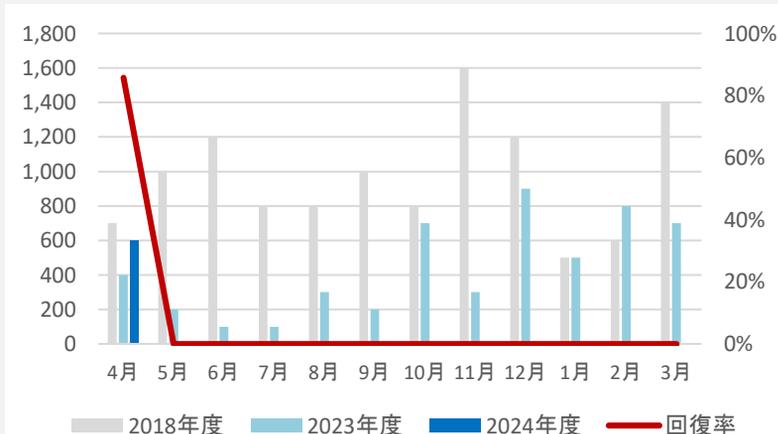


マレーシア

訪日概況：5月の訪日客数は39,600人（前年同月比16.5%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等の影響があるものの、直行便数の増加、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

パティックエアマレーシアによるクアラルンプール-台北-那覇便があるものの、未就航だった2018年からの回復率は86%とやや低調。今後も粘り強く沖縄の魅力を発信していくことが求められる

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年7月の週間運航便数から算出

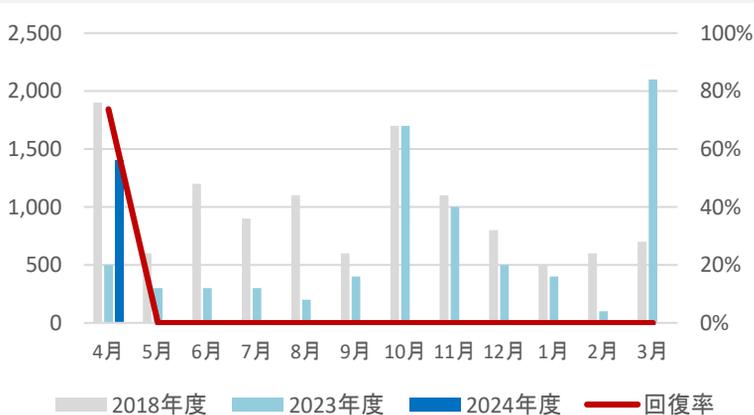


オーストラリア

訪日概況：5月の訪日客数は66,500人（前年同月比62.9%増）であった。国際航空運賃が高騰しているものの、直行便数が2019年水準を上回っていること等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

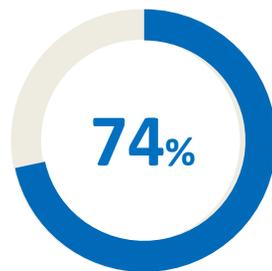
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

2024年3月は前年同月より+900人、対2018年比回復率が74%の1,400人の訪沖が確認された。

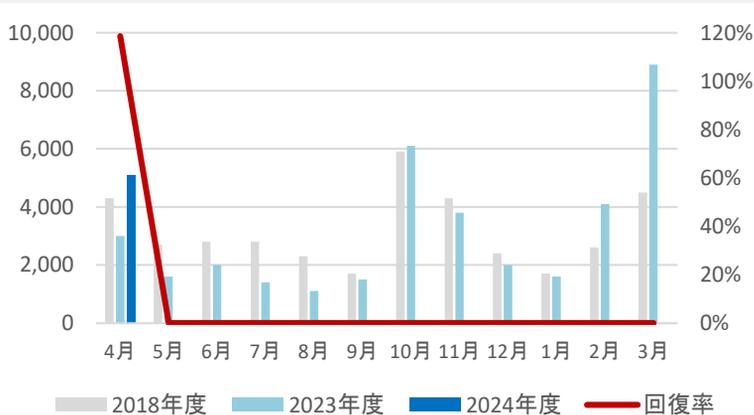


アメリカ

訪日概況：5月の訪日客数は247,000人（前年同月比34.7%増）であった。直行便数の増加に加え、スクールホリデーや祝日等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

2018年度より800名多い5,100人の来訪があった。コロナ以降順調に回復を伸ばしている市場であり、2024年2月以降は常に2018年より多い来訪が確認されている

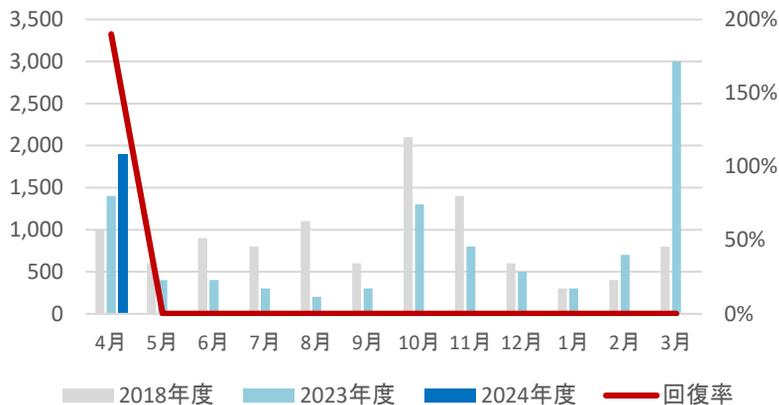


イギリス(本国)

訪日概況：5月の訪日客数は、39,100人（前年同月比41.0%増）であった。経路便航空商品の多様化等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

2024年4月は対2018年、2023年より多い1,900人の来訪が確認された。クルーズ船からの来訪が多く、3月に引き続き好調な結果となった。

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」

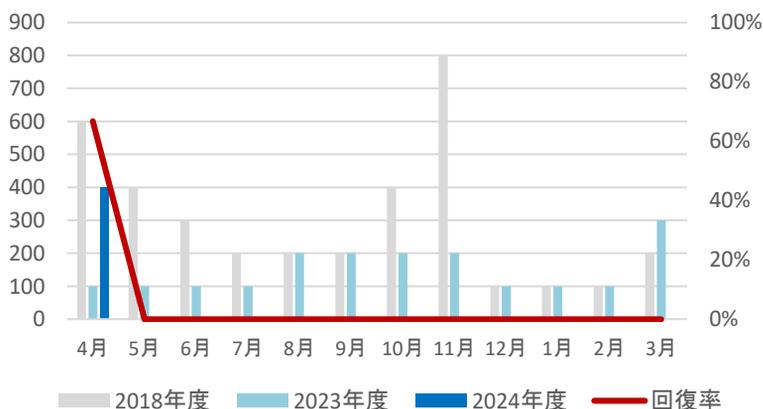


フランス

訪日概況：5月の訪日客数は38,200人（前年同月比42.8%増）であった。航空券代金の高騰等あるものの、直行便数の増加や祝日等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

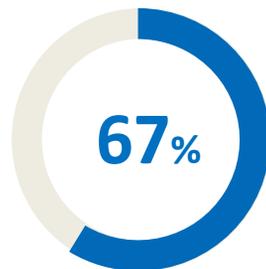
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

2024年4月は対2018年比+300人の400名の訪沖が確認された。

観光客数回復率*



出典：沖縄県「入域観光客統計」



海外プロモーション課 那覇着 国際線状況

●国際線スケジュール(2024年7月31日現在)

最新のスケジュール、運航状況は航空各社のHP等ご確認ください。出発/到着時刻は現地時刻です。

2024.0731

【台湾路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
台北→那覇	エバー航空	BR112	06:45	09:15	デイリー運航
台北→那覇	タイガーエア台湾	IT230	06:50	09:20	デイリー運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI120	08:00	10:40	デイリー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM924	09:35	12:20	デイリー運航
台北→那覇	スターラックス航空	JX870	12:00	14:25	デイリー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM926	14:35	17:20	デイリー運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI122	16:45	19:25	火・木・土・日
台北→那覇	エバー航空	BR186	16:25	18:55	デイリー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM928	18:05	20:50	デイリー運航
高雄→那覇	タイガーエア台湾	IT288	09:45	12:30	デイリー運航
高雄→那覇	チャイナエアライン	CI132	16:20	19:05	月・水・金

【中国路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
北京→那覇	中国国際航空	CA831	12:25	17:00	月・木
上海→那覇	中国東方航空	MU2085	09:50	13:30	デイリー運航
上海→那覇	春秋航空	9C6977	10:35	14:00	月・水・金・日
上海→那覇	中国東方航空	MU287	11:40	15:30	デイリー運航

【韓国路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
仁川→那覇	イースター航空	ZE631	07:30	10:00	デイリー運航
仁川→那覇	大韓航空	KE755	09:10	11:40	デイリー運航
仁川→那覇	アジアナ航空	OZ172	09:30	11:55	デイリー運航
仁川→那覇	ジンエア-	LJ341	10:35	13:00	デイリー運航
仁川→那覇	ティーウェイ航空	TW271	11:15	13:40	デイリー運航
仁川→那覇	チエジュ航空	7C1802	13:30	15:45	デイリー運航
釜山→那覇	ジンエア-	LJ371	08:05	10:00	デイリー運航

【香港路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
香港→那覇	香港エクスプレス	UO820	07:00	10:35	デイリー運航
香港→那覇	香港航空	HX676	07:25	11:10	デイリー運航
香港→那覇	香港航空	HX658	11:30	15:15	デイリー運航

【バンコク路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD240	08:30	14:55	火・木・土・日
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD230※	07:25	15:55	デイリー運航

※台北経由

【マレーシア路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
クアラルンプール→那覇	パティックエア・マレーシア	OD882※	07:20	15:50	月・水・金・日

※台北経由

【シンガポール路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
シンガポール→那覇	ジェットスターアジア	3K791	02:00	08:10	火・木・日

【離島・下地島】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
仁川→下地島	ジンエア-	LJ357	12:40	15:10	月水金土日

【定期便まとめ】

2024.0731

路線	便数	備考
那覇台北	60 便/週	5 社運航
那覇高雄	10 便/週	2 社運航
那覇北京	2 便/週	1 社運航
那覇上海	18 便/週	2 社運航
那覇仁川	42 便/週	5 社運航
那覇釜山	7 便/週	1 社運航
那覇香港	21 便/週	2 社運航
那覇バンコク	11 便/週	1 社運航
那覇クアラルンプール	4 便/週	1 社運航
那覇シンガポール	3 便/週	1 社運航
下地仁川	5 便/週	1 社運航
全路線計	183 便/週	21 社運航
便数回復率	71.5%	

※回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出

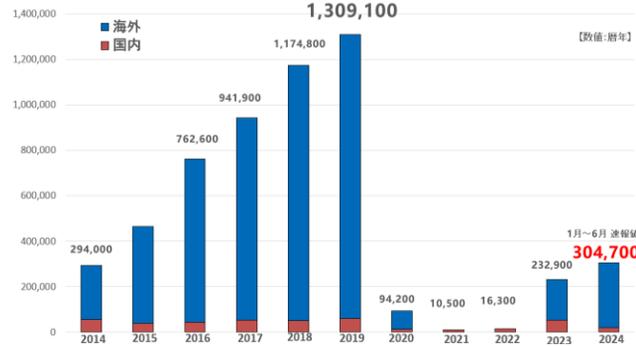
海路入域概況

上半期の海路入域数が前年度年間数を上回る（暦年）

台湾からのクルーズ船が好調。中国発のクルーズも回復傾向。

7月25日公表の沖縄県入域観光客数では、2024年1月～6月の海路入域数は、海外283,600人、国内21,100人の合計30万4,700人となり、上半期ですでに前年の海路入域数23万2,900人を上回っております。最も海路からの入域があった2019年（130万9,100人）と比較すると約23%の回復となっておりますが、今後の寄港予定から回復傾向はさらに加速するものと推測します。これまで、低調に推移していた中国からのクルーズ船も2024年の4月から回復傾向にあり、那覇港の寄港予約では、8月から12月にかけて上海や廈門からなどの中国発の寄港は28本予定されております。

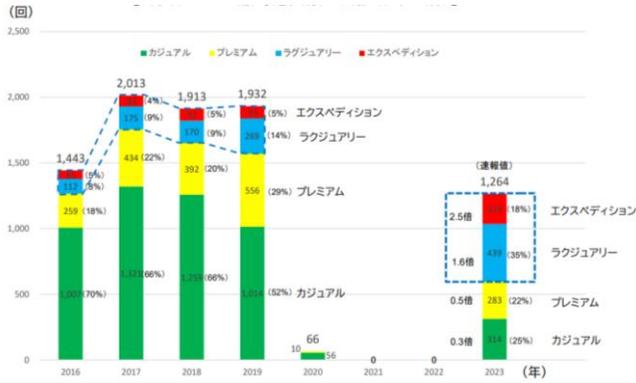
沖縄県入域観光客概況 海路入域客数（国内+海外）



沖縄県入域観光客概況の公表をもとに作成

小規模離島周遊のエキスペディションクルーズ

コロナ渦前（2016年～2019年）と比較してラグジュアリー・エキスペディション船の寄港回数が全国的に増加傾向にあります。（右図参照）沖縄県内でも商船三井クルーズの沖縄発着のクルーズ商品やフランスのクルーズ船社「ポナン」による離島エキスペディションクルーズなど、沖縄県内の小規模離島を周遊する離島クルーズが継続的に実施されています。



X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を発信してます。

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウントでは、沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など、皆様のお役に立てば幸いです。

以下のアカウント名より検索してフォローをお願いいたします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
プロフィール URL：<https://twitter.com/OkinawaCruise>



クルーズ船寄港情報

- 那覇港：（7/26 更新） <https://nahaport.jp/users/kyakusen/>
- 石垣港：（7/26 更新） <https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>
- 平良港：（7/25 更新） <https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>
- 本部港：（5/31 更新） <https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>
- 中城湾港：（6/27更新） <https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>

事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1 観光人材マッチング支援事業	国内外での合同就職説明会の開催、インターンシップの受入促進、観光現場で働く魅力を発信する広報や、職場見学ツアー、職業体験イベント等を行うことにより、観光業界の持続的発展に繋がる人材の確保・定着を図ることを目的とする。 ①合同就職説明会等の実施 ②職場訓練（インターン）の受入促進 （往復分の渡航費等支援あり） ③職場見学バスツアーの実施 ④お仕事体験イベント(親子参加型)の開催 ⑤観光現場で働く魅力を伝える広報	観光業界	http://staging.kan-koujinzai-okinawa.com/	
2 令和6年度 沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業	現場における人材不足に対応するため、観光事業者が人材不足を補うために実施する設備投資やシステム構築などの無人化・省人化に向けた取組を支援する。 ※二次公募が始まりました。 ①大規模メニュー 申請締切：令和6年9月6日(金) 正午 従業員数250人以上……上限額 8 5 0 万円 ②中規模メニュー 申請締切：令和6年9月13日(金)正午 従業員数50人～249人 ……上限額 4 5 0 万円 ③小規模メニュー 申請締切：令和6年9月13日(金)正午 従業員数50人未満 ……上限額 8 5 万円	観光業界	https://www.ocvb.or.jp/support/4293	
3 令和6年度観光人材受入等支援事業	観光事業者が行う国内外からの観光人材の受入にかかる取組を支援する。 【対象経費】 ・就職説明会の出展経費、求人広告費用など 採用活動時に要する経費 ・新たに採用する人材の渡航費 ・資格取得の支援にかかる経費 ・人材紹介にかかる手数料（補助率1/2） 【対象期間】 令和6年4月1日～令和6年12月31日までに要する経費 【申請締切】 令和6年8月30日(金)	観光業界	https://kankoujin-zai-ukeireshien-okinawa.com/	文化観光スポーツ部 観光振興課 TEL 098-866-2764
4 観光人材住居確保支援事業	海外・県外等の遠隔地から人材を受け入れるにあたって、従業員の住居を確保する際に必要な費用の一部を補助し、観光業界の持続的発展につながる人材の確保・定着を図る。 【対象経費】 ・住居確保時に必要な初期費用(礼金・仲介手数料) ・最大6か月分の家賃 ※上限 単身世帯 1世帯当たり 300,000円 家族世帯 1世帯当たり 400,000円 【対象期間】 令和6年4月1日～令和7年1月31日までに要する経費 【対象となる人材】 令和6年1月1日以降に、県外・海外から新たに受け入れた人材 公募開始日は、決まり次第WEBサイトや観光団体宛に周知予定。	観光業界	※決まり次第周知予定	
5 令和6年度MICE受入体制強化等事業 専門アドバイザー派遣	多様化したMICEのニーズに対応するため、専門アドバイザーを派遣し、MICE関連事業者が抱える課題解決をサポートする。 【課題例】 ・商品やサービスを主催者や旅行会社にPRする方法 ・既存コンテンツをMICE向けにするにはどうしたらよいか ・MICE受入時の対応方法について 【対象期間】令和6年4月～令和7年2月末 ※予算上限に達し次第〆切 【対象者】沖縄県内の事業者 【派遣回数】4回程度 【派遣料】無料	全事業者	https://mice.okinawastory.jp/information/post-40678/	文化観光スポーツ部 MICE推進課 TEL098-866-2077

最後までお読みいただき、ありがとうございます。OCVBではこれからも事業者の皆さまの役に立つ情報を発信し続けてまいります。ぜひ、皆さまのお声をお聞かせくださいませ。

＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.office.com/r/UkzMbqK2az>



▼こちらのQRコードからも回答いただけます▼



どんな情報が役に立っていますか？

どのような記事が読みたいですか？

